



取付説明書

TOYOTA

b B

QNC21

QNC20

QNC25

BLITZ

(1) 安全上のご注意

はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
【二柱式リフトをお勧めします】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちる場合があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元がない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのカソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は、熱価の高い点火プラグへの交換を推奨します。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 本キット以外の部品の取り付け(点火プラグ以外)は絶対に行わないでください。
純正交換タイプのエアクリーナー、弊社製むき出しタイプのエアクリーナー、及び弊社製マフラーの取り付けに関しては問題ありませんが、その他の部品(弊社製品も含む)の取り付けは絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。

【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

(2) 適合車種

車 名: TOYOTA bB

型 式: QNC21

E/G型式: 3SZ-VE

年 式: 2005年12月～

製品番号: 10180

製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

車 名: TOYOTA bB

型 式: QNC20

E/G型式: K3-VE

年 式: 2005年12月～

製品番号: 10178

製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

車 名: TOYOTA bB

型 式: QNC25

E/G型式: K3-VE









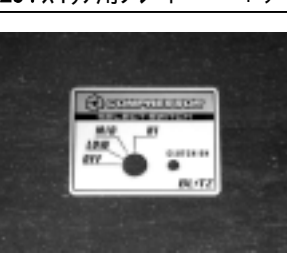







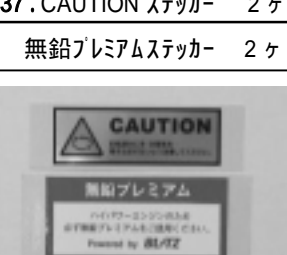
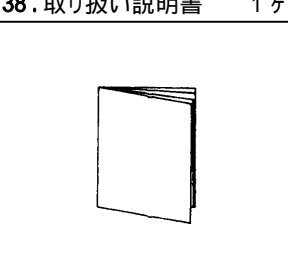
年 式: 2005年12月～

製品番号: 10179

製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

パーツリスト

<p>1. コンプレッサ-本体 1ヶ</p> 	<p>2. ガasket 2ヶ</p> 	<p>3. マニホールド(アッパ) 1ヶ</p> 	<p>4. マニホールド(ロア) 1ヶ</p> 
<p>5. インマニガasket 1ヶ</p> 	<p>6. ブラケット(アイドラ) 1ヶ</p>  <p>10180 10178/10179</p>	<p>7. ブラケット(オルタネータ) 1ヶ</p> 	<p>8. ブラケット(SC) 1ヶ</p> 
<p>9. プーリー(アイドラ) 2ヶ</p> 	<p>10. カラ- (ブラケットアイドラ) 1ヶ</p>  <p>t = 13.7mm</p>	<p>11. カラ- (ブラケットSC) 1ヶ</p>  <p>t = 24mm</p>	<p>12. カラ- (アイドラA) 1ヶ</p>  <p>t = 11.3mm (10180 のみ)</p>
<p>13. カラ- (アイドラB) 1ヶ</p>  <p>t = 25.2mm (10180 のみ)</p>	<p>14. カラ- (アイドラ) 2ヶ</p>  <p>t = 9.0mm (10178/179 のみ)</p>	<p>15. テンショナーブロック 1ヶ</p> 	<p>16. Vベルト 1ヶ</p> 
<p>17. シリコンホース 50 2ヶ</p> 	<p>18. エアホース 1ヶ</p>  <p>(10178/179 のみ)</p>	<p>19. バキュームホース4 1ヶ</p> 	<p>20. ニップルストレート 大 1ヶ</p> 

<p>21. ニップルストレート 小 1ヶ</p> 	<p>22. ニップルエルボ 大 2ヶ</p>  <p>(10178/179のみ)</p>	<p>23. ニップルエルボ 小 1ヶ</p> 	<p>24. 沈みプラグ 2ヶ</p>  <p>(10180のみ)</p>
<p>25. ホースバンド 大 4ヶ</p> 	<p>26. ホースバンド 小 3ヶ</p>  <p>(10178/179のみ)</p>	<p>27. 電磁クランチ用スイッチ 1ヶ</p> 	<p>28. スイッチコントローラ 1ヶ</p> 
<p>29. スイッチ用プレート 1ヶ</p> 	<p>30. リレハーネス 1ヶ</p> 	<p>31. フューエルコントローラ 1ヶ</p> 	<p>32. センサコントローラ 1ヶ</p> 
<p>33. コルゲートチューブ 1ヶ</p> 	<p>34. タイラップ 大・小 各10ヶ</p> 	<p>35. キボシ・エレクトロタップ</p> 	<p>36. コンプレッサプレート 1ヶ</p> 
<p>37. CAUTION ステッカー 2ヶ</p> <p>無鉛プレミアムステッカー 2ヶ</p> 	<p>38. 取り扱い説明書 1ヶ</p> 		

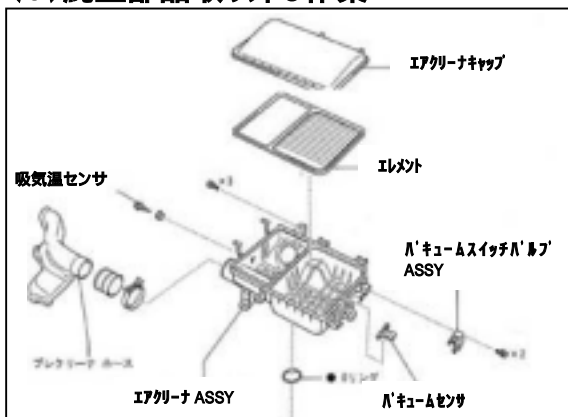
製品番号 10180

キャップホルト M6×30	6ヶ	キャップホルト M8×75	1ヶ	キャップホルト M10×20	2ヶ
フランジホルト M6×16	6ヶ	フランジホルト M8×25	1ヶ	フランジホルト M8×45	3ヶ
フランジホルト M10×35	1ヶ	六角ホルト M10×65	1ヶ	スタッドホルト M8×30	2ヶ
M8 ワッシャー	1ヶ	M10 ワッシャー	1ヶ	M8 ナット	2ヶ

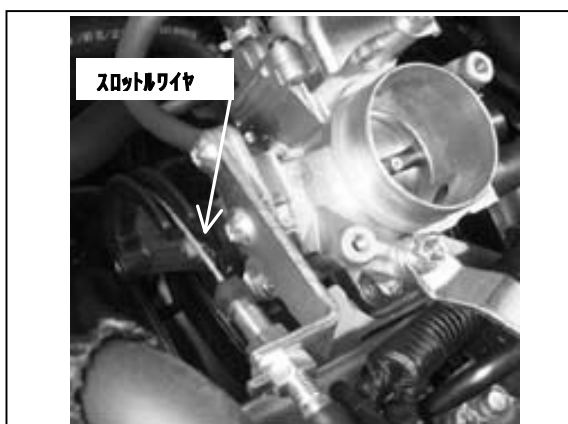
製品番号 10178/10179

キャップホルト M6×30	6ヶ	キャップホルト M8×20	1ヶ	キャップホルト M8×45	2ヶ
キャップホルト M10×20	2ヶ	キャップホルト M8×75	1ヶ	フランジホルト M6×16	6ヶ
フランジホルト M8×45	1ヶ	フランジホルト M10×35	2ヶ	スタッドホルト M8×30	2ヶ
M8 ワッシャー	1ヶ	M8 ナット	2ヶ		

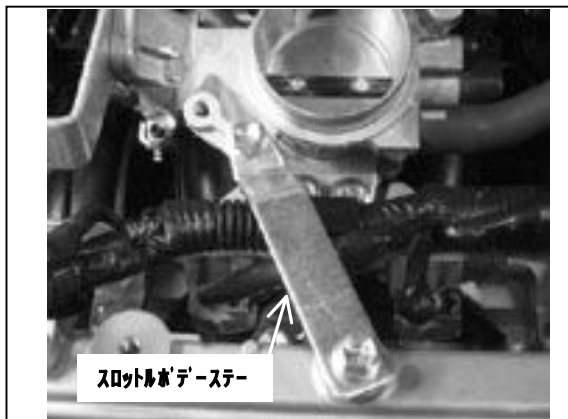
(3) 純正部品取り外し作業



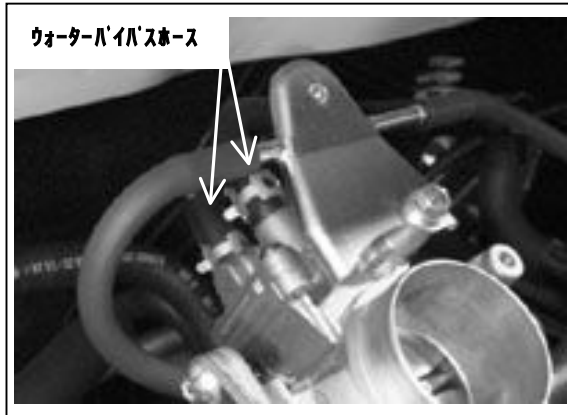
- (1) バッテリーターミナルを切り離す。
- (2) エアクリーナキャップを取り外す。
- (3) バキュームセンサ、バキュームスイッチバルブ ASSY、吸気温センサをエアクリーナ ASSY から切り離す。
- (4) ボルト3ヶ所を外し、エアクリーナ ASSY を取り外す。



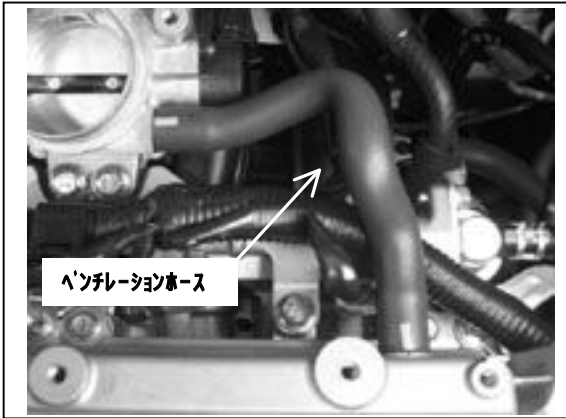
- (5) スロットルワイヤを取り外す。



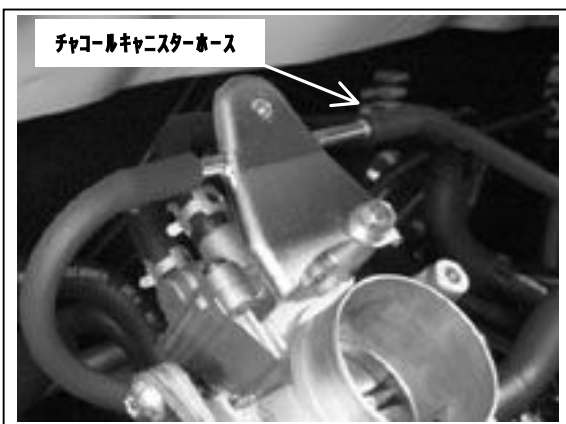
- (6) スロットルボデー"ステア"を取り外す。



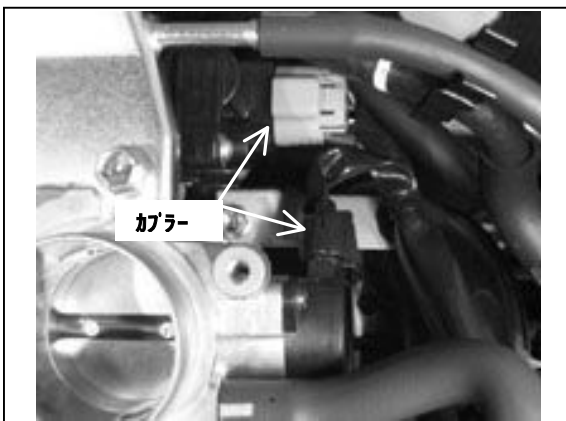
- (7) ウォーターバイパスホース2本を切り離す。



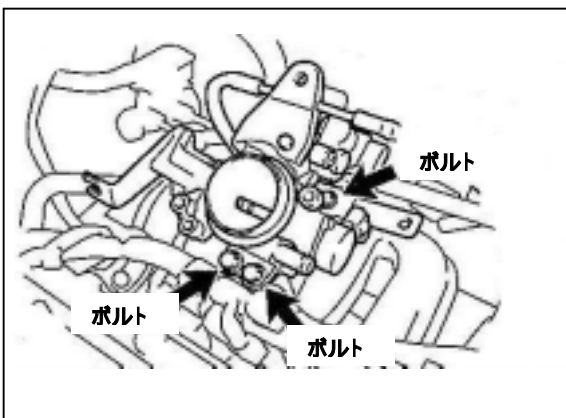
(8)ベンチレーションホースを取り外す。



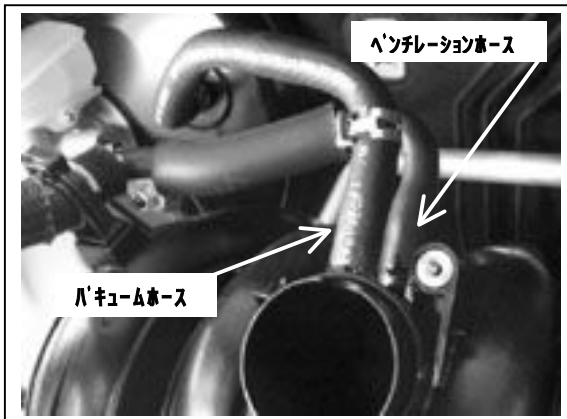
(9)チャコールキャニスターホースを切り離す。



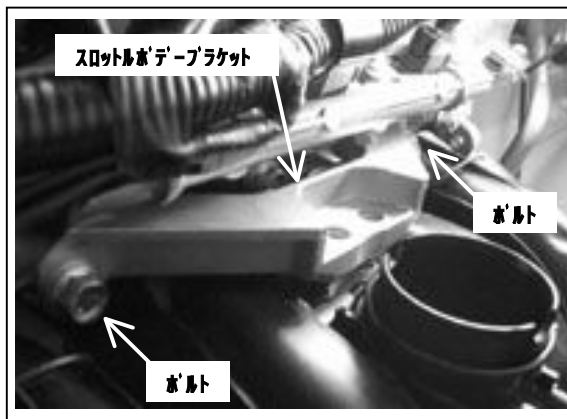
(10)カプラー2ヶ所を切り離す。



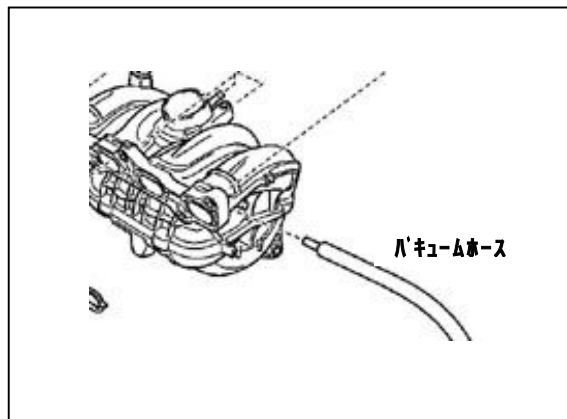
(11)ボルト3ヶ所を取り外し、スロットルボデーASSYを取り外す。
Oリングは、再使用しますので取り扱いに注意して下さい。



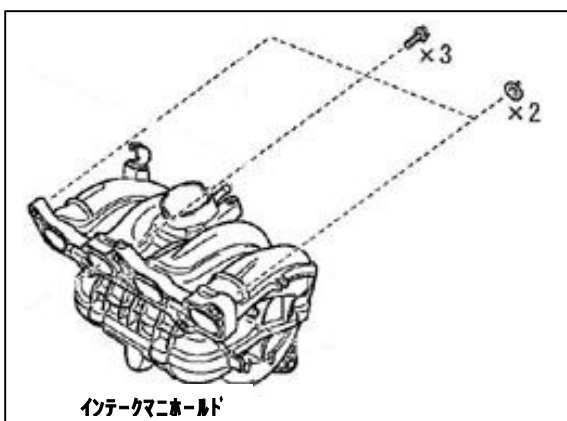
(12) バキュームホース、ベンチレーションホースをインマニから切り離す。



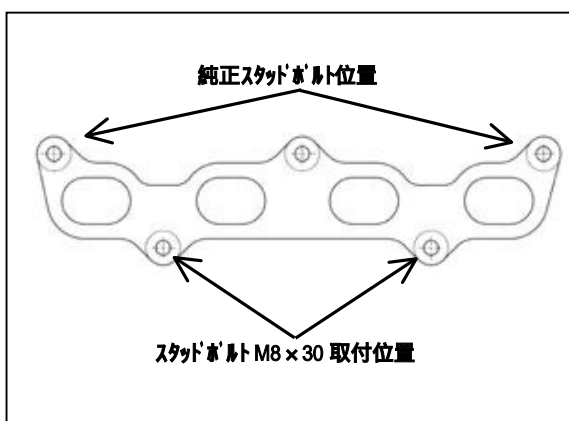
(13) ボルト2ヶ所を外し、スロットルボデーブラケットを取り外す。



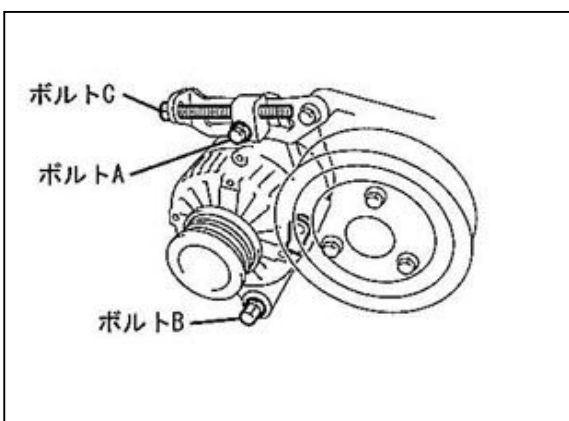
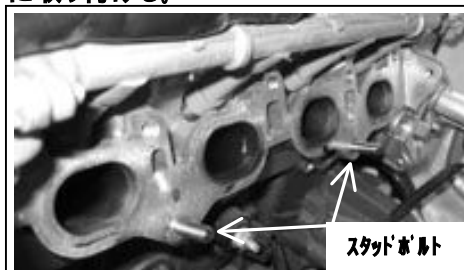
(14) インマニ横に挿してあるバキュームホースを切り離す。



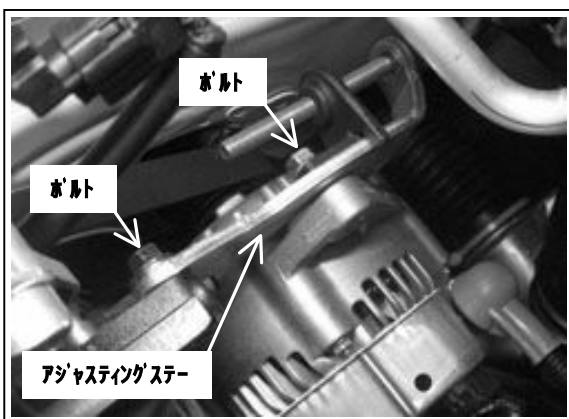
(15) ボルト3本、ナット2個を取り外し、インテークマニホールドを取り外す。



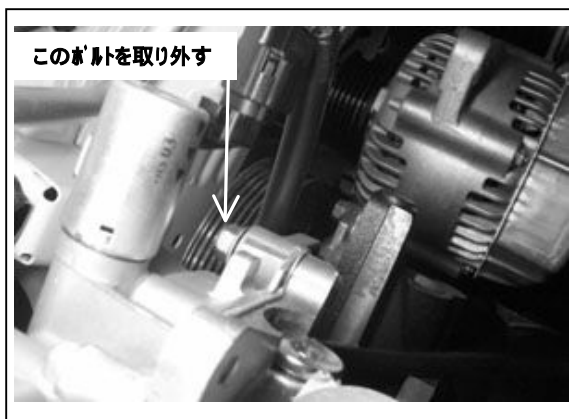
(16) インマニフランジ(エンジン側)についている純正スタッドボルトを取り外し、スタッドボルト M8 x 30 2 本を左図を参考に取付ける。



(17) ボルト A・B を緩める。
 (18) ボルト C を回して、V ベルトの張力を緩め、純正 V ベルトを取り外す。
ボルト C は、キット取付の際使用しますので、取り外しておいて下さい。



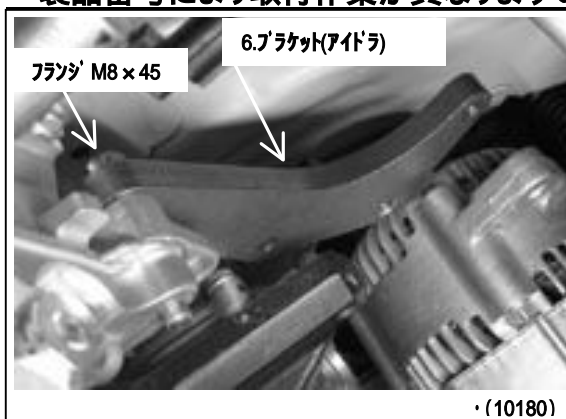
(19) ボルト 2 本を取り外し、アジャスティングステーを車両から取り外す。



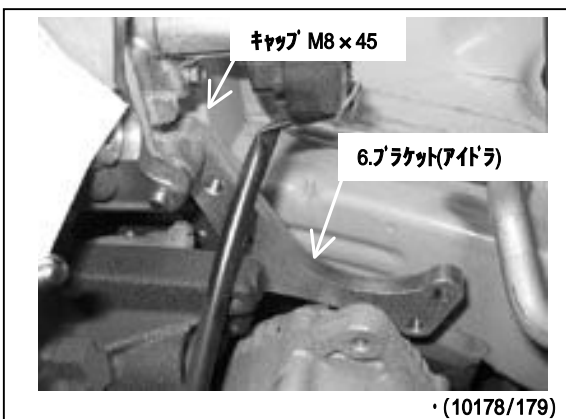
(20) 左図を参考に、純正のボルトを 1 本取り外す。

〔4〕コンプレッサーキット取り付け作業。

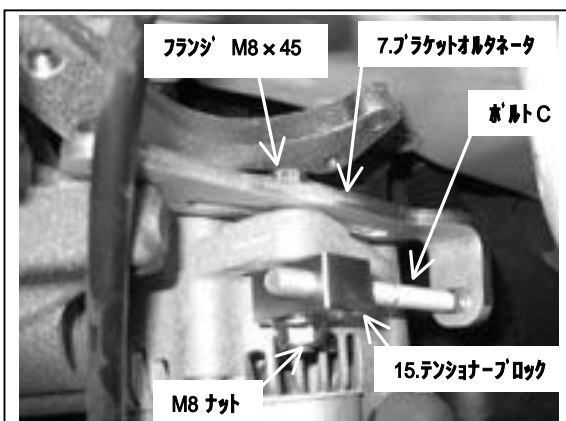
製品番号により取付作業が異なりますので、ご注意ください。



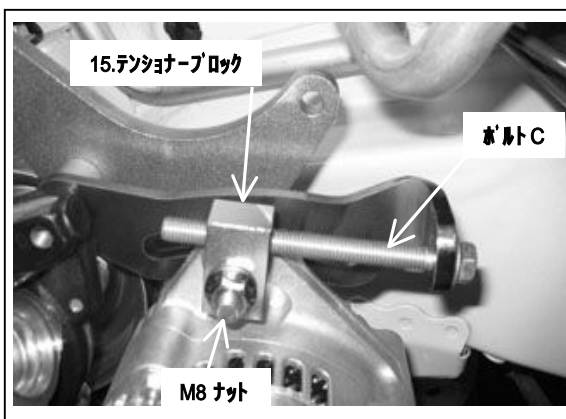
- (1) ブラケット(アイドラ)仮付け。
 ・(10180)
 6.ブラケット(アイドラ) 1ヶ
 フランジボルト M8 x 45 1ヶ
 を左図を参考に取り付け。
仮付けの状態にしておきます。

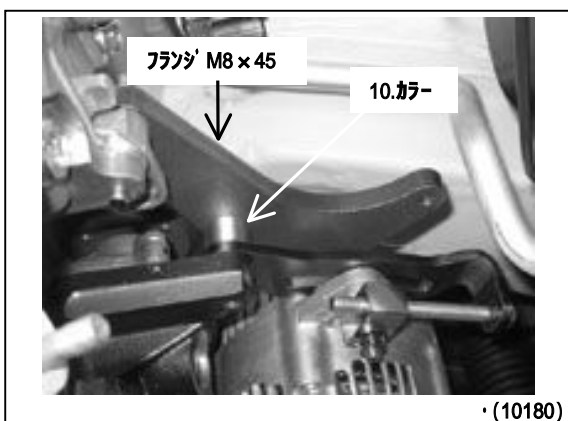


- ・(10178/10179)の場合
 6.ブラケット(アイドラ)
 キャップボルト M8 x 45 1ヶ
 を左図を参考に取り付け。
仮付けの状態にしておきます。

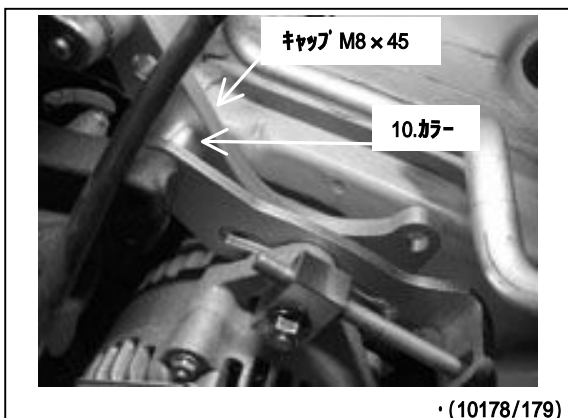


- (2) テンショナーブロック取り付け。
 7.ブラケット(オルタネータ) 1ヶ
 15.テンショナーブロック 1ヶ
 フランジボルト M8 x 45 1ヶ
 M8 ナット 1ヶ
 純正テンショナーから外したボルトC
 を左図を参考に仮付けする。

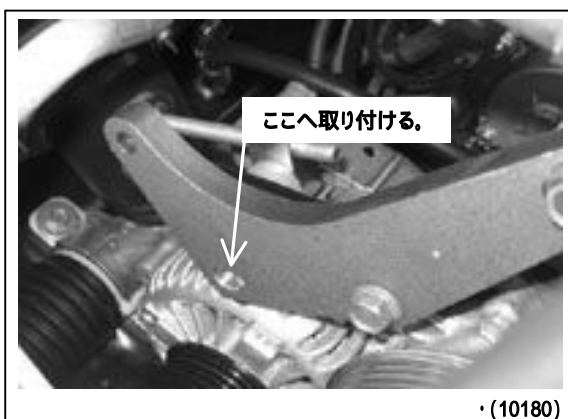




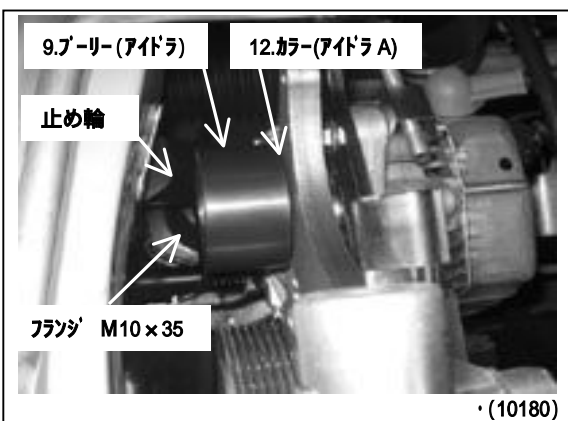
- (3) ブラケット(オルタネータ)仮付け。
 ・(10180)の場合
 7.ブラケット(オルタネータ) 1ヶ
 10.カラー(ブラケットアイドル) 1ヶ
 フランジボルト M8 x 45 1ヶ
 で左図を参考に取り付ける。
仮付けの状態にしておきます。

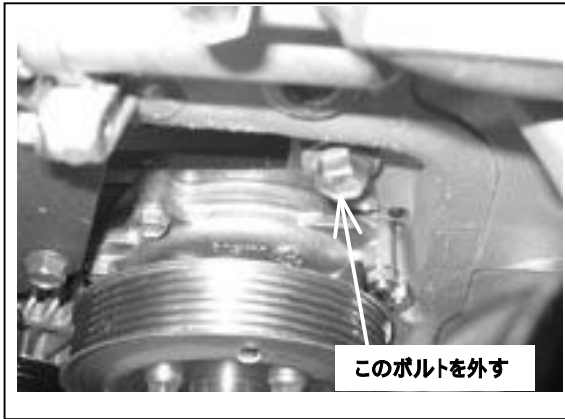


- ・(10178/10179)の場合
 7.ブラケット(オルタネータ) 1ヶ
 10.カラー(ブラケットアイドル) 1ヶ
 キャップボルト M8 x 45 1ヶ
 を左図を参考に取り付ける。
仮付けの状態にしておきます。



- (4) プーリー(アイドル)の取付
 ・(10180)のみ
 ブラケット側から、
 12.カラー(アイドルA) 1ヶ
 9.プーリー(アイドル) 1ヶ
 フランジボルト M10 x 35 1ヶ
 の順に、左図を参考に取り付ける。
仮付けの状態にしておきます。
プーリーはベアリングの止め輪が付いている方を外側に向けて付けて下さい。





・(10180)のみ
 ウォーターポンプ上のボルトを取り外す。
 (左図参照)

エンジン側から

13.カラー(アイドラB) 1ヶ

9.プーリー(アイドラ) 1ヶ

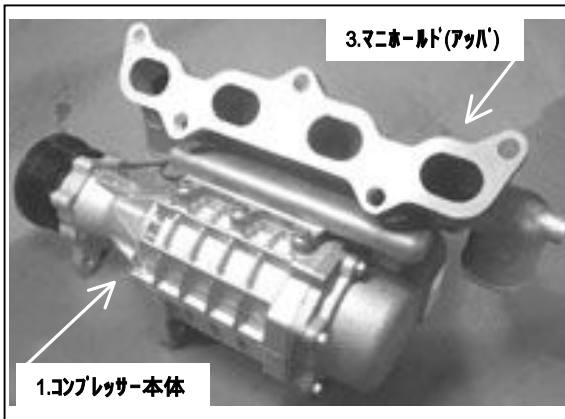
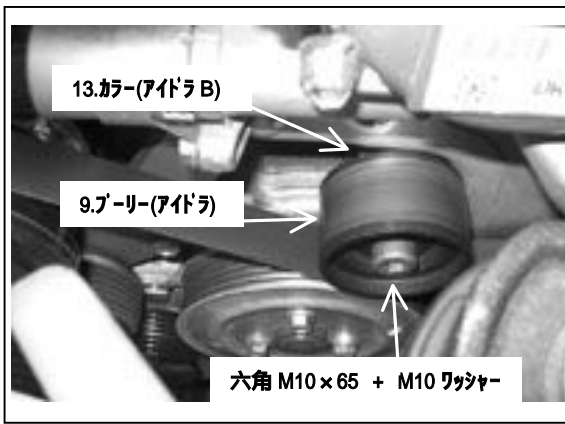
M10 ワッシャー 1ヶ

六角ボルト M10×65 1ヶ

の順に取り付け、ボルトを本締めする。

T=30N・m

プーリーはベアリングの止め輪が付いている方を外側に向けて付けて下さい。



(5)コンプレッサー本体、マニホールド(アッパ)を組み立てる

1.コンプレッサー本体 1ヶ

3.マニホールド(アッパ) 1ヶ

2.ガスケット1ヶ

キャップボルト M6×30 3ヶ

フランジボルト M6×16 3ヶ

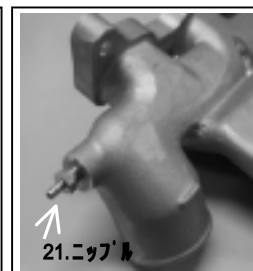
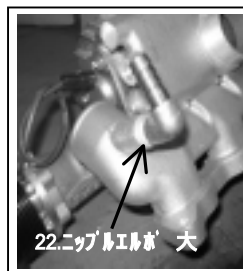
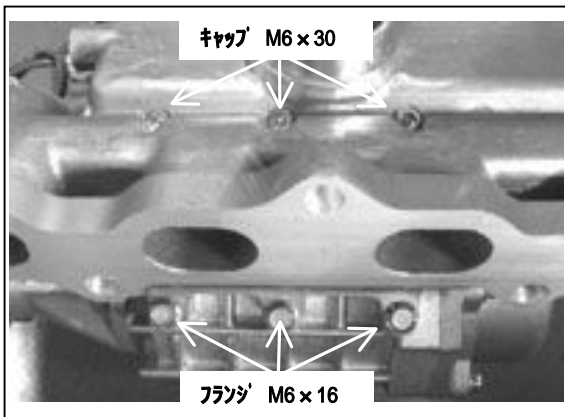
を左図を参考に組み立てる。

仮付けの状態にしておきます。

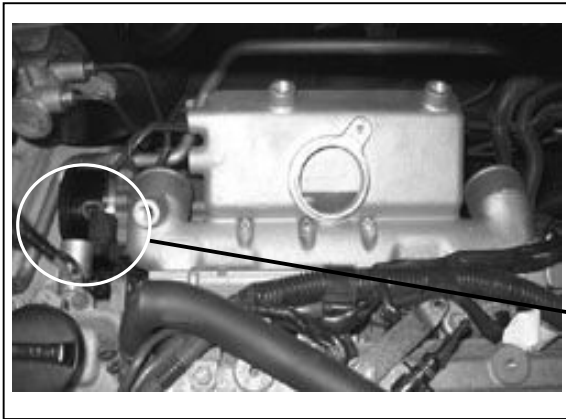
(6)ニップル取付

21.ニップルストレート 小、22.ニップルエルボ 大(1078/10179 のみ)、を下図を参考に、マニホールド(アッパ)へ取り付ける。

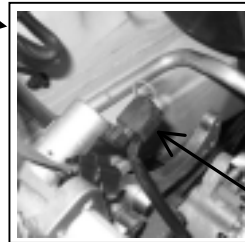
必ず、シールテープ等を使用して下さい。



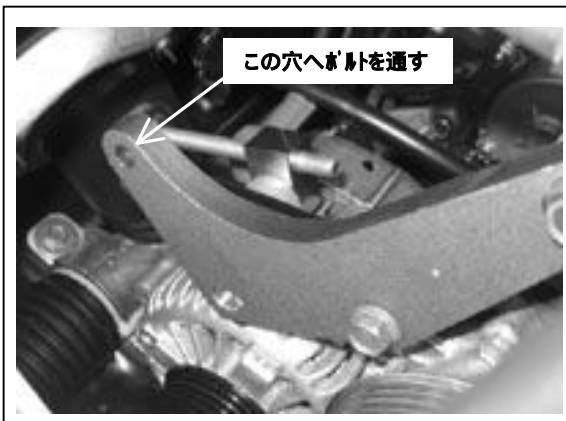
(10178/10179 のみ)



(7)コンプレッサー本体、マニホールド(アッパ)ASSY をエンジンへ取り付け。
 5.インマニガasketを、エンジンとマニホールドの間へ挟み、純正ボルト・ナットを使用して取り付け。装着前に、左図で示したカブラーに巻いてあるテープを剥がします。
仮付けの状態にしておきます。

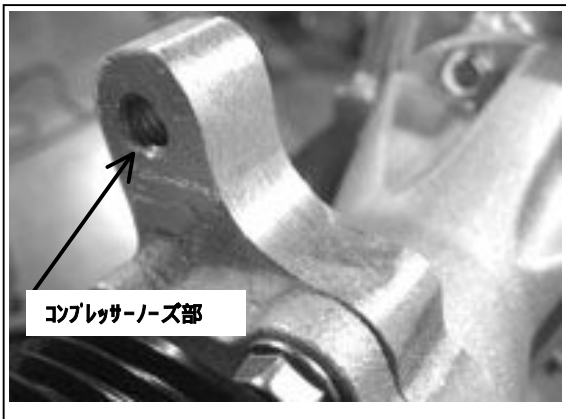


テープを剥がす

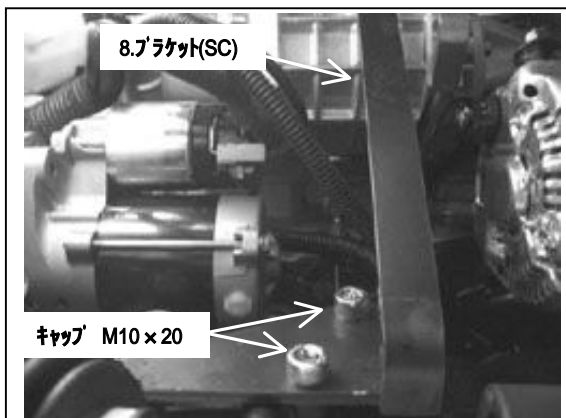


この穴へボルトを通す

(8)1.コンプレッサー本体と 6.ブラケット(アイドラ)を留める。
 ・(10180)の場合
 フランジボルト M8×25 1ヶ
 ・(10178/10179)の場合
 キャップボルト M8×20 1ヶ
 で、コンプレッサーのノーズ部分と 6.ブラケット(アイドラ)を留める。(左図参照)
仮付けの状態にしておきます。



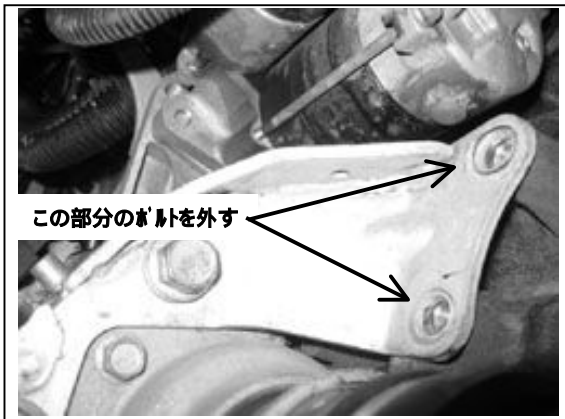
コンプレッサーノーズ部



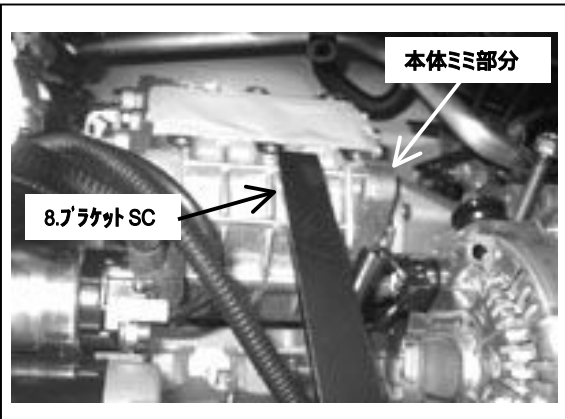
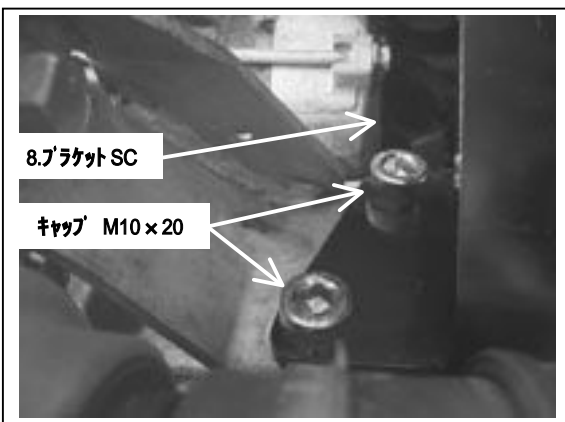
8.ブラケット(SC)

キャップ M10×20

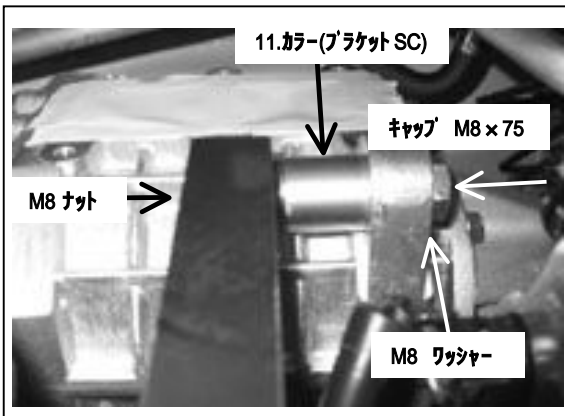
(9)8.ブラケット(SC)を取り付ける。
 (車両下側からの作業になります)
 ・(10178/10180)の場合
 マフラーを取り外す。
 8.ブラケット(SC) 1ヶ
 キャップボルト M10×20 2ヶ
 で、左図のように、エンジンへ取り付ける。
仮付けの状態にしておきます。



・(10179)の場合
マフラーを取り外す。
左図を参考に純正ボルト 2ヶを外す。
8.ブラケット(SC) 1ヶ
キャップボルト M10×20 2ヶ
を左図のように、エンジンへ取り付け、
仮付けの状態にしておきます。



(10)1.コンプレッサー本体と8.ブラケット(SC)を留める。
11.カラー(ブラケットSC) 1ヶ
キャップボルト M8×75 1ヶ
M8 ナット 1ヶ
M8 ワッシャー 1ヶ
で、コンプレッサー本体のミミの部分と、8.
ブラケット(SC)を留める。
仮付けの状態にしておきます。



(11) ボルト・ナット本締め

(7) で取り付けた、純正ボルト 3 ヶ、純正ナット 2 ヶを本締めする。

T=23N・m

(5) で取り付けた、M6 ボルト 6 ヶを本締めする。

T=10N・m

(1)、(3) で取り付けた、M8 ボルト 2 ヶを本締めする。

T=25N・m

(8) で取り付けた、M8 ボルト 1 ヶを本締めする。

T=25N・m

(10) で取り付けた、M8 ボルト・ナット 1 ヶを本締めする。

T=37N・m

(9) で取り付けた、M10 ボルト 2 ヶを本締めする。

T=37N・m

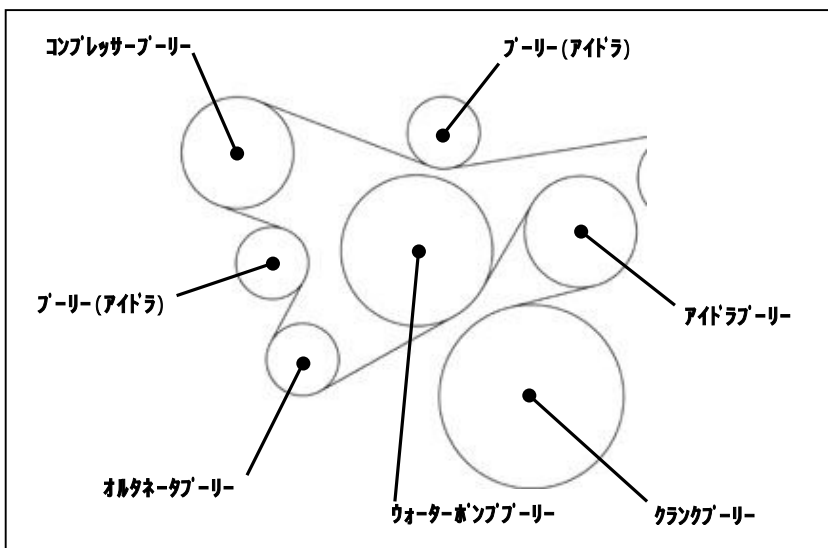
(4) で取り付けた、M10 ボルト 1 ヶを本締めする。 (10180)のみ

T=37N・m

(12) V ベルト取付

下図を参考に 16.V ベルトを車両へ取り付ける。

(10178/10179)は、V ベルトを取り付けた後に、プーリー(アイドラ)を取り付けます。



(13) プーリー(アイドラ)取付

・(10178/10179)のみ

ブラケット側から、

14.カラー(アイドラ) 2ヶ

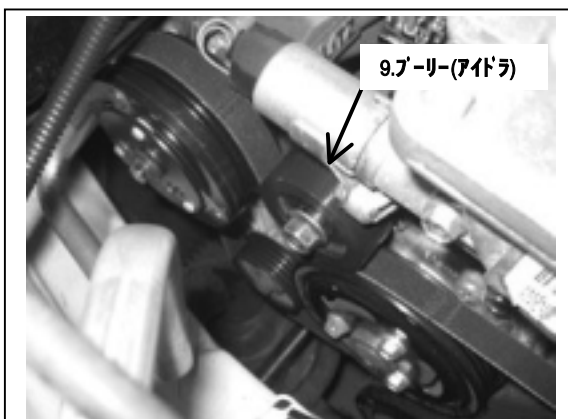
9.プーリー(アイドラ) 2ヶ

フランジボルト M10×35 2ヶ

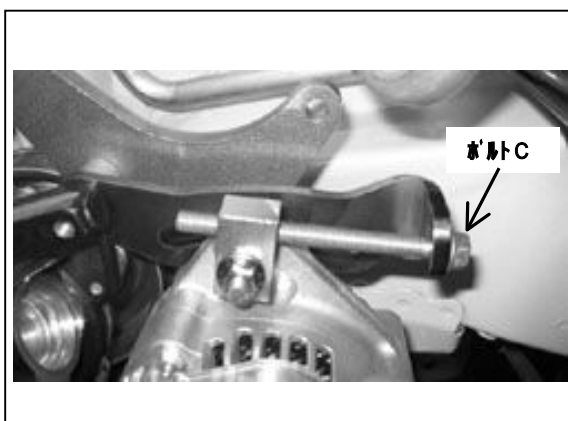
の順に、左図を参考に取り付ける。

ボルトを本締めする。

T=37N・m

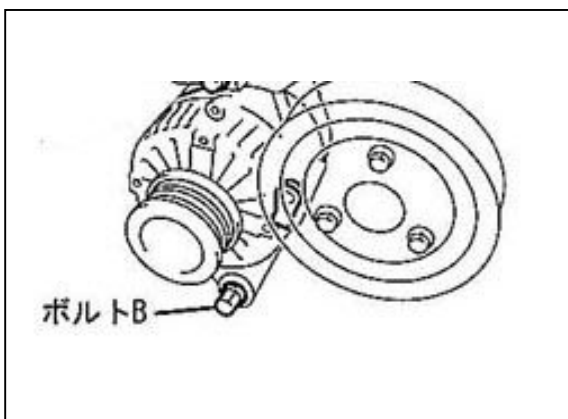


プーリーは、ベアリングの止め輪が付いている方を外側に向けて取り付けてください。



(14)V ベルトを張る
ボルト C を回し、V ベルトの張力を調整する。

	エンジン	新品時	点検時
張力 (N)	3SZ-VE	830-930	340-540
	K3-VE	580-680	340-540
たわみ量 (mm)	3SZ-VE	4-5	8-11
	K3-VE	6-7	7-9.5



ボルト B を本締めする。

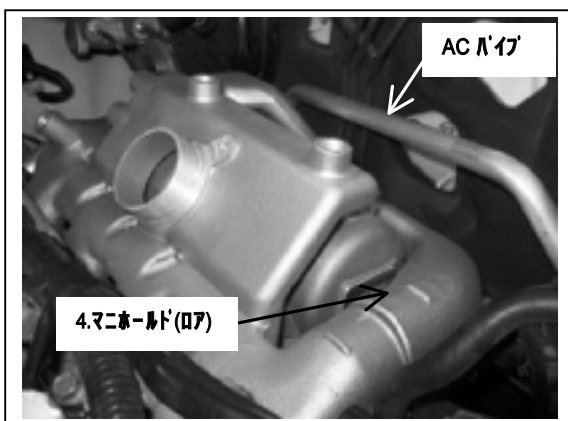
$T=44N \cdot m$

(2) で取り付けた、M8 ボルトを本締めする。

$T=19N \cdot m$

(2) で取り付けた、M8 ナットを本締めする。

$T=19N \cdot m$



(15) マニホールド(ロア) 取付

4.マニホールド(ロア) 1ヶ

17.シリコンホース 2ヶ

25.ホースバンド 大 4ヶ

2.ガスケット 1ヶ

キャップボルト M6×30 3ヶ

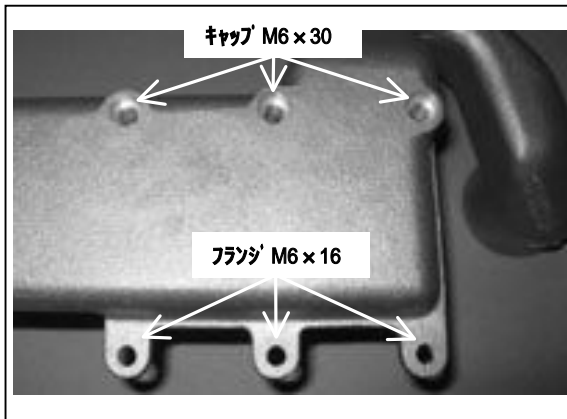
フランジボルト M6×16 3ヶ

を左図を参考に取り付ける。

シリコンホースは、最後に取り付けたと作業し易くなります。

ガスケットを忘れずに挟んでください。

スペースが非常に狭い為、装着の際、ACパイプと干渉する事があります。ACパイプを押しながら、取付取り付けて下さい。

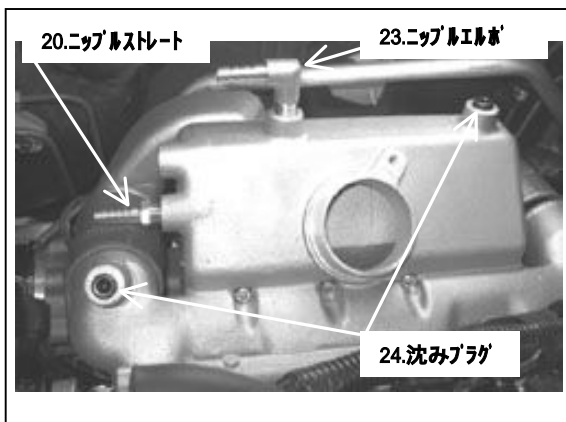
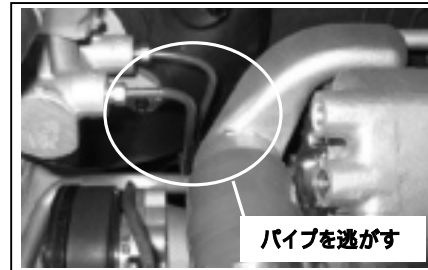


M6 ボルト 6 ヶを本締めする。

T=10N・m

25.ホースバンド 大 で、シリコンホースを締める。

ブレーキパイプの干渉する部分を曲げ加工する。



(16)ニップル取付・ホース接続
・(10180)の場合

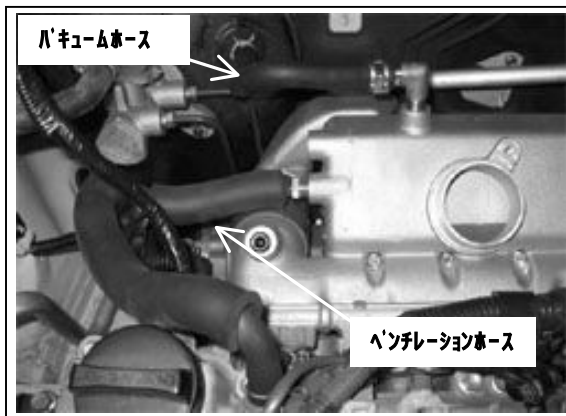
20.ニップルストレート 大 1ヶ

23.ニップルエルボ 小 1ヶ

24.沈みプラグ 2ヶ

を左図のように取り付ける。

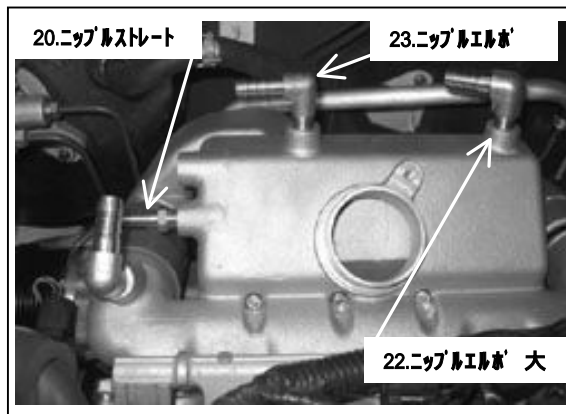
必ず、シールテープ等を使用してください。



左図を参考に、バキュームホース、ベンチレーションホースを繋ぐ。

ホースに無理なテンションがかからないように、適当なところでホースをカットしてください。

バキュームホースには、ワンウェイバルブが入っています。ホースをカットする際は、外してしまわないように注意してください。



・(10178/10179)の場合

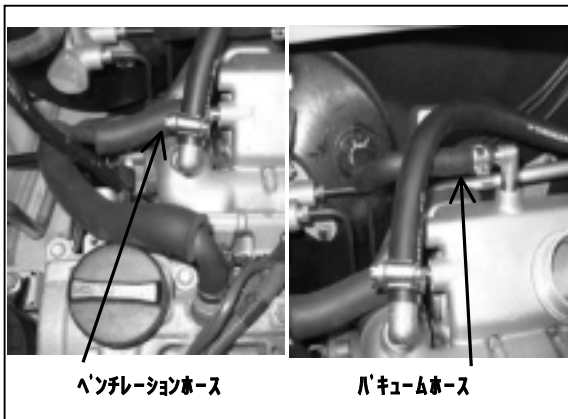
20.ニップルストレート 大 1ヶ

22.ニップルエルボ 大 1ヶ

23.ニップルエルボ 小 1ヶ

を左図のように取り付ける。

必ず、シールテープ等を使用して下さい。

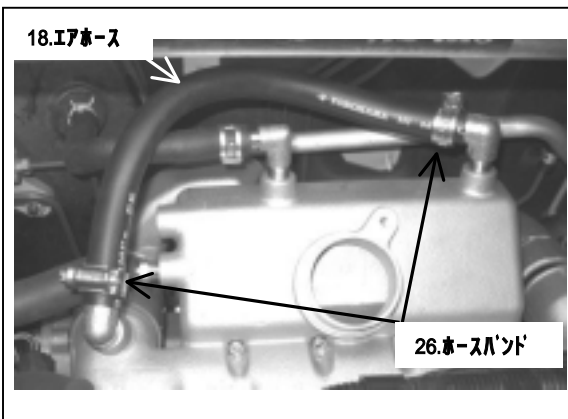


ベンチレーションホース

バキュームホース

左図を参考に、バキュームホース、ベンチレーションホースを繋ぐ。
ホースに無理なテンションがかからないように、適当なところでホースをカットしてください。

バキュームホースには、ワンウェイバルブが入っています。ホースをカットする際は注意してください。



18.エアホース

26.ホースバンド

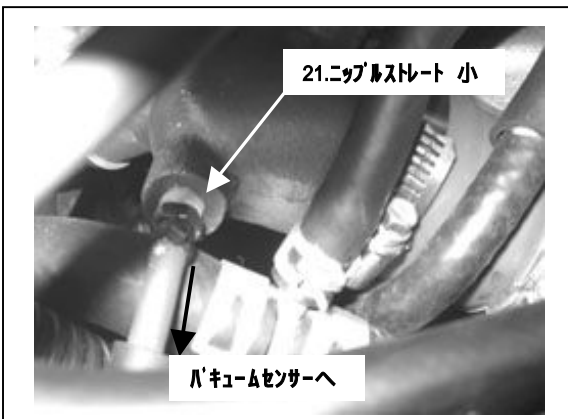
18.エアホース

26.ホースバンド 小 2ヶ

をホースを適当な長さにカットし、左図を参考に取り付け。

22.ニップルエルボ 大、の間をエアホースで繋ぎます。

ホースバンドの閉め忘れに注意してください。



21.ニップルストレート 小

バキュームセンサーへ

(17) 圧力センサバキュームホース接続

(3) 純正部品取り外し作業(14)で外したバキュームホースを、(6)で取り付けしたニップルストレート 小へ繋ぐ。

タイラップ等で抜け止めをしてください。



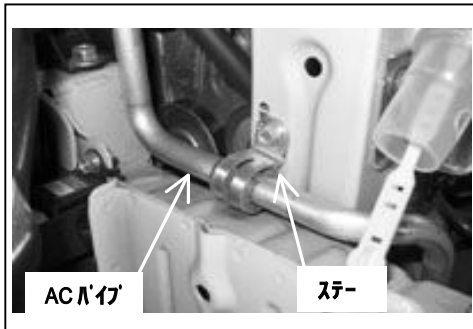
ウォッシャータンク

(18) AC ホース移動作業

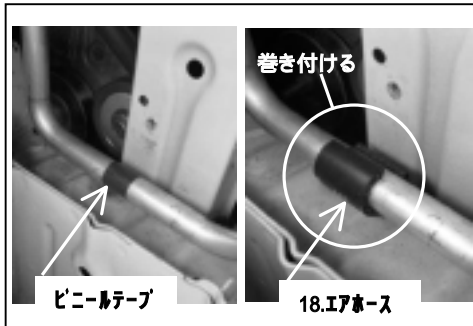
(10178/10179)のみ

フロントバンパーを取り外す。

ウォッシャータンクを取り外す。

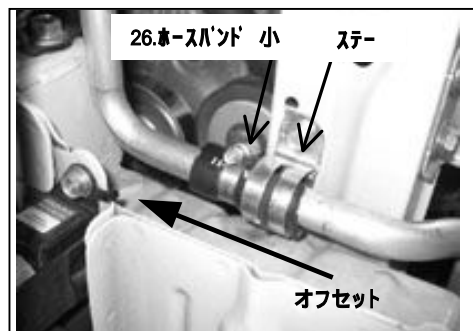


AC パイプを留めている、ステアを取り外す。



18.エアホースを 15mm程度切り取り、エアホースを裂き、AC パイプへ巻き付ける。

ステアを外すと、AC パイプにビニールテープが巻いてあります。その、テープ上にエアホースを巻き付けてください。



26.ホースバンド 小

で巻き付けたエアホースを固定する。
ステアを元に戻す。

この作業は、AC パイプを車両後方へオフセットさせ、固定させる為のものです。(20mm程度オフセット)

(19) 純正部品戻し作業

- ・スロットルボデーブラケットを仮付けする。
- ・スロットルを取り付ける。

Oリングを忘れずにつけてください。

- ・スロットルのボルト 3 ヶを本締めする。

$T=21\text{N}\cdot\text{m}$ (M8)、 $T=7.5\text{N}\cdot\text{m}$ (M6)

- ・スロットルボデーブラケットのボルト 2 ヶを本締めする。

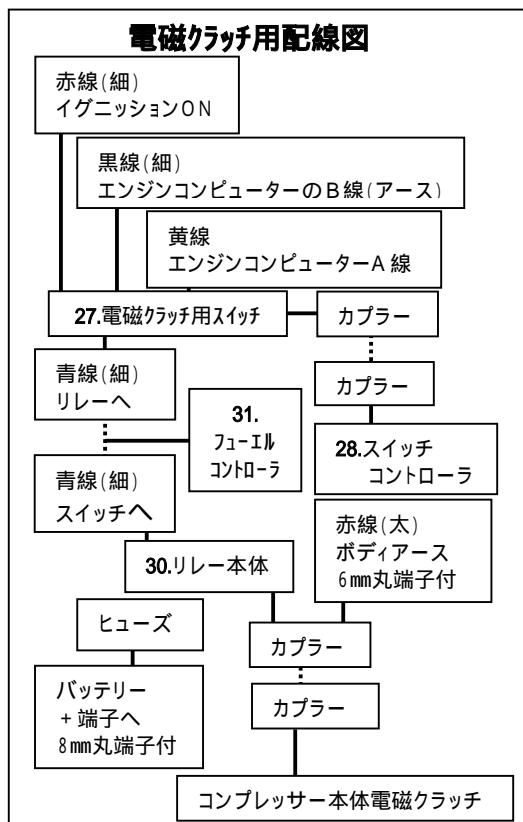
$T=21\text{N}\cdot\text{m}$

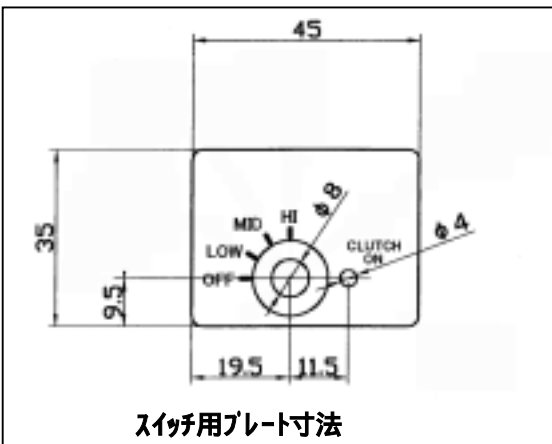
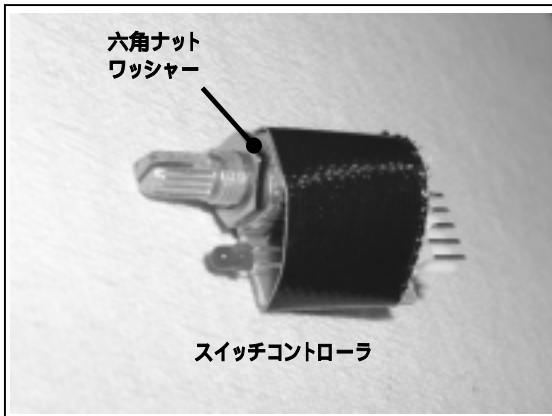
- ・カプラー 2 ヶ所を元のように挿す。
- ・チャコールキャニスターホースを接続する。
- ・ベンチレーションホースを接続する。
- ・ウォーターバイパスホース 2 本を接続する。
- ・スロットルボデーステアを取り付ける。
- ・スロットルワイヤを取り付ける。
- ・クリーナーASSY を取り付ける。

$T=7.5\text{N}\cdot\text{m}$ (M6)

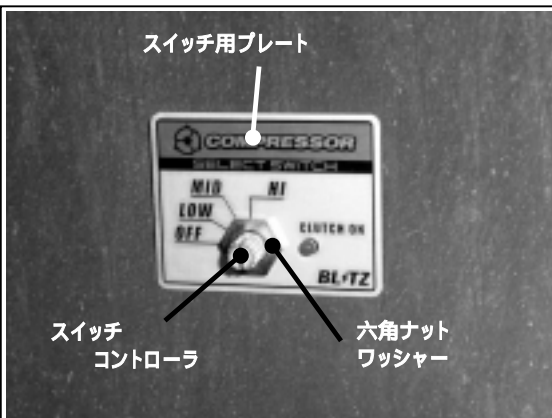
- ・バキュームセンサ、バキュームスイッチングバルブ ASSY、吸気温センサをエアクリーナー ASSY へ取り付ける。
- ・エアクリーナーキャップを取り付ける。
- ・マフラーを取り付ける。

- (5) 30.リレーハーネス、27.電磁クラッチ用スイッチ配線作業。
- (1) 30.リレーハーネスのカブラーと、1.コンプレッサー本体のカブラーを接続する。
 - (2) 30.リレーハーネスのリレー本体を適当な場所へ固定する。
 - (3) 30.リレーハーネスの 6mm丸端子をボディーアースに、8mm丸端子をバッテリープラス端子に接続する。
 - (4) 30.リレーハーネスの青線を助手席室内に引き込む。
配線類の皮膜には、33.コルゲートチューブを使用してください。





スイッチ用プレート寸法



(5) 29.スイッチ用プレート、28スイッチコントローラ取り付け作業

注意 スwitchの取り付けには穴あけ加工が必要となります。

取り付け位置はおお客様にご確認の上、加工・取り付けを行ってください。

28.スイッチコントローラの調節ツマミ部の六角ナット及びワッシャーを取り外す。

28.スイッチコントローラを取り付ける場所に穴あけ加工する。

穴寸法は、図をご参照ください。なお、取り付け部分の厚み等により、若干の寸法の調整が必要です。

あけた穴に、28.スイッチコントローラの調節ツマミ部と赤色LEDを通し、表面保護シートおよび裏面剥離紙を剥がした29.スイッチ用プレートを上から被せ、六角ナット・ワッシャーで固定する。

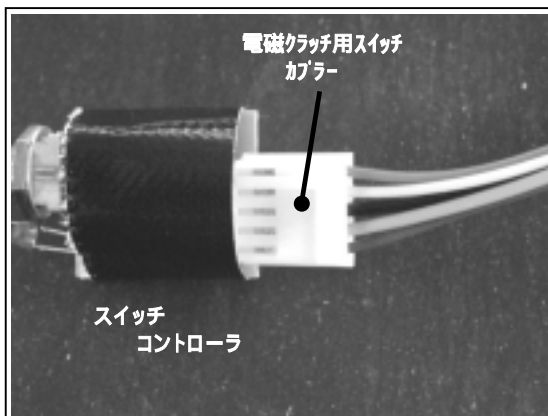
28.スイッチコントローラのツマミ取り付け部を反時計回りに止まるまで回し、調節ツマミのマークがOFFに合うように取り付ける。

調節ツマミを回し、プレート表記位置とツマミマークが合っていることを確認してください。

28.スイッチコントローラのカプラーと、27.電磁クラッチ用スイッチのカプラーを接続する。

スイッチ類本体および配線類を、タイラップを使用して、固定する。

注意 高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。



(6) 31.フューエルコントローラー、32.センサーコントローラー取り付け作業

ECU 配線図に従って、31.フューエルコントローラ配線、32.センサーコントローラー配線と純正 ECU 配線および 27.電磁クラッチ用スイッチの青線を接続する。

ECUは助手席側グローブボックスの奥にあります。

フューエルコントローラーの配線は叉取りです。

センサーコントローラーの配線は、コントローラー内へ入出力させます。

配線の断線・接続不良には、十分注意して作業してください。

最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

コントローラーをそれぞれ、を当な場所に固定する。

配線類を、タイラップを使用して固定する。

高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

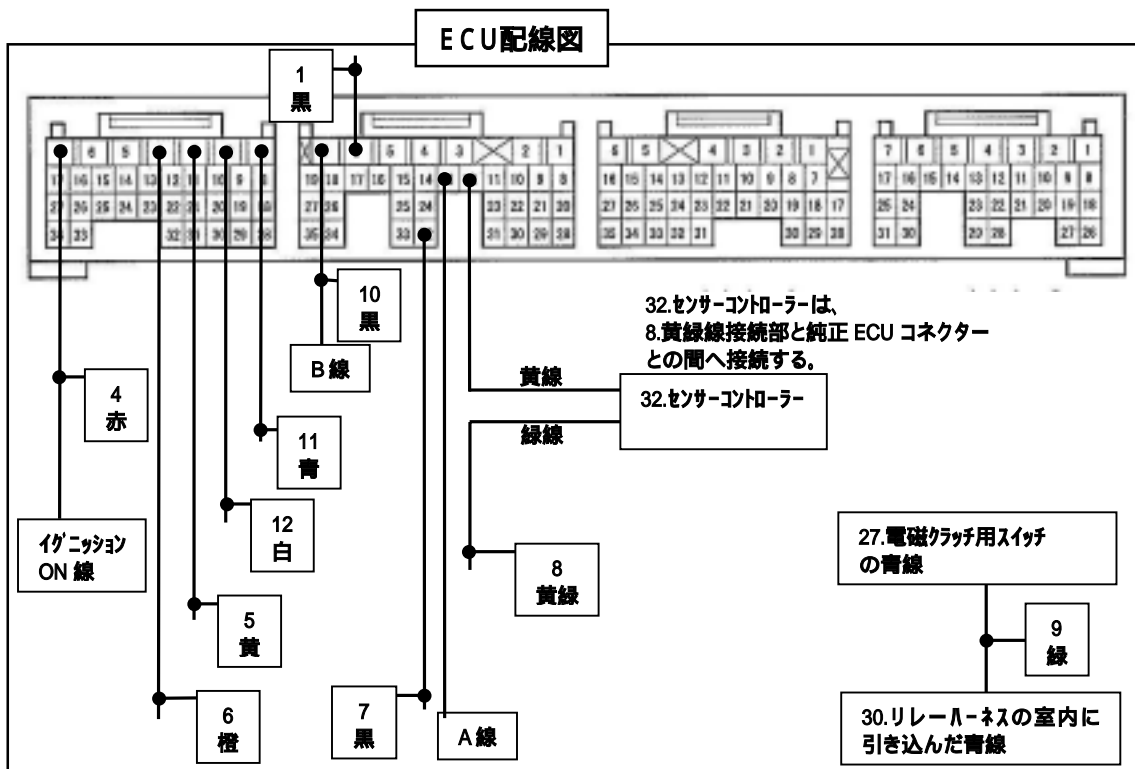
グローブボックスを元のように取り付ける。

(7) 27.電磁クラッチ用スイッチの

黄線を、ECU配線図のA線に、黒線を、B線に、赤線を、イグニッションON電源線に、青線を、室内に引き込んだ、30.リレーハーネスの青線と接続する。

32.センサーコントローラーの、

赤線を、イグニッションON電源線に、黒線を、B線に接続する。



31.フューエルコントローラーケーブル



31.フューエルコントローラーケーブル配置図

1 黒	2	3	4 赤	5 黄	6 橙
7 黒	8 黄緑	9 緑	10 黒	11 青	12 白

- (8) バッテリーを繋ぎ、イグニッションキーをON、セレクトスイッチをLOW、MID、HIにしてそれぞれの位置でアクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認してください。
エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。
スイッチコントローラー部LED(赤)の点灯及びエンジンルームコンプレッサー本体の電磁クラッチ部を確認してください。
- (9) エンジンを始動し、アイドル状態状態で5～10分間放置する。
- (10) エンジン始動状態でレーシングを行い、ベルトの滑りを確認する。
ベルトが滑っている場合は各ベルトテンションの調整を行ってください。
実走行でベルトの滑りが出ている場合も同様にベルトテンションを調整してください。
- (11) 同様にエンジン始動状態でレーシングを行い、31.フューエルコントローラーの側面に付いているLED(赤)の点灯を確認する。
電磁クラッチONの条件でフューエルコントローラーが作動(LEDが点灯)します。
LEDが点滅または点灯しない場合は配線の不良・間違いが考えられます。
再度配線の確認を行ってください。

注意事項

- ・ ガソリンは必ずハイオクガソリンに入れ換えてください。
レギュラーガソリンが残っている場合はコンプレッサーの電磁クラッチをONにしないで走行してください。(セレクトスイッチOFF位置)
何度か給油し、燃料タンク内のガソリンが完全にハイオクガソリンになってから電磁クラッチをONにして走行してください。
- 注意** レギュラーガソリンで電磁クラッチをONにして走行するとノッキングを発生させ、エンジン破損の原因になります。
- ・ ギア位置がパーキング・ニュートラル・リバースの時は電磁クラッチをONにしないでください。(セレクトスイッチOFF位置)
(上記ベルトの滑りの確認、フューエルコントローラーの作動確認の場合を除きます。)
 - ・ 純正触媒の取り外しは絶対に行わないでください。
 - ・ 燃料コントローラー等、キット付属の部品以外の装着は絶対に行わないでください。

以上で、本キットの取り付けは終了です。

BLATZ